

<アイディア>

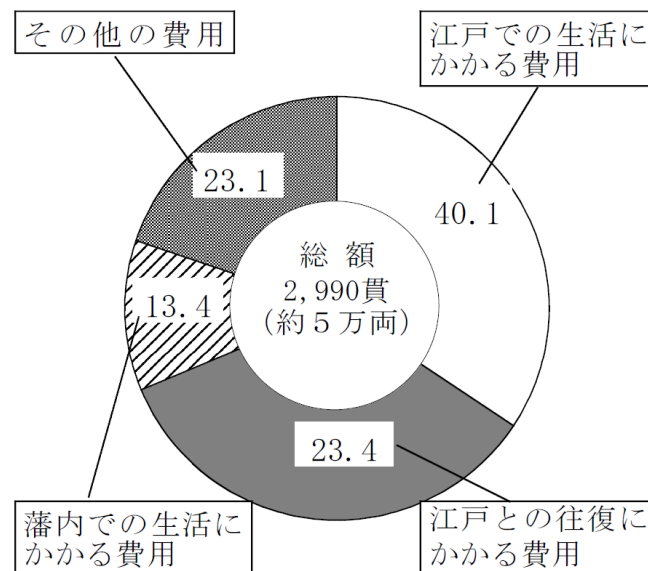
第6学年「B(1)ア(イ)」(古代までの日本)

大名の配置や武家諸法度についての知識を活用し、参勤交代の影響を考察し表現するために、身近な秋田藩の資料を活用するアイディア

【学習問題】

参勤交代は、各地の大名にどのような影響を与えたのでしょうか。

資料 秋田藩^{はん}で一年間(1679年)にかかった費用の目的別割合(%)



※本アイディアは、単元評価問題・秋田県学習状況調査を基に、再構成したものです。

本単元に関する学習指導要領の内容 第6学年「B(1)ア(イ)」(近世の日本)

B(3) 近世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 江戸幕府の成立と対外関係

江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 交易の広がりとその影響，統一政権の諸政策の目的，産業の発達と文化の担い手の変化，社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，アの(ア)から(イ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現すること。

(イ) 近世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現すること。

＜本アイデアのポイント＞

- ・ 歴史学習において、身近な資料を使うことで、児童の興味を引き出すことが期待できます。
- ・ 単元評価問題や学習状況調査の資料や問題を再構成して活用することで、授業改善に生かすことができます。

教科書や資料集には出てこない地域素材を授業に取り入れていくことで、歴史への親近感が高まり、思考を刺激することにつながりますね。



【展開例】

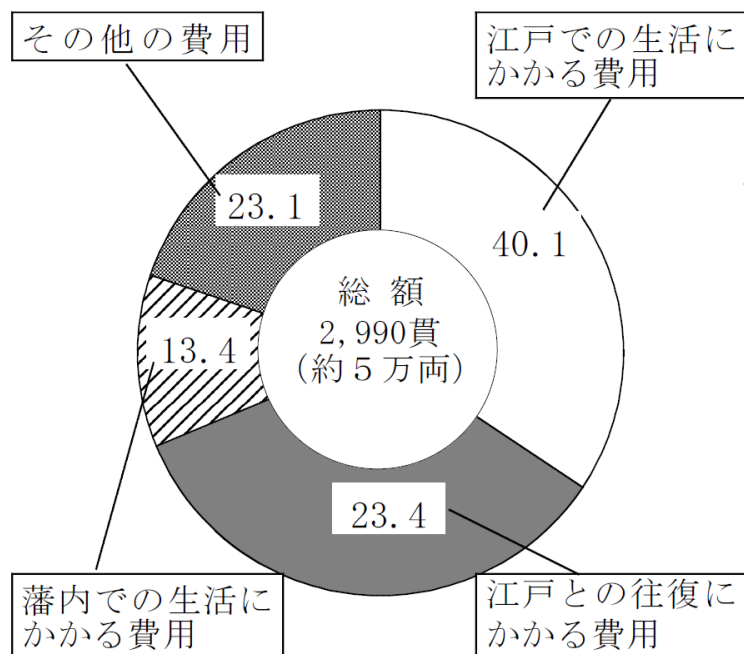
- ① 学習問題をつかむ。
- ② 秋田藩の資料から分かることをことを考える。
- ③ 他藩の類似資料や参勤交代に関する資料を基に、各地の大名への影響について考える。
- ④ 個人で考えを再構成し、文章でまとめる。

展開① 学習問題をつかむ。

【学習問題】

参勤交代は、各地の大名にどのような影響を与えたのでしょうか。

資料 秋田藩^{はん}で一年間（1679年）にかかった費用の目的別割合（%）



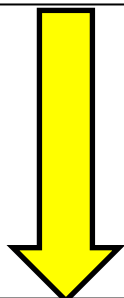
まずは、秋田藩の例をみていきましょう。どのようなことが読み取れるのでしょうか。



展開② 秋田藩の資料から分かることを考える。

資料から読み取ったこと（例）

- ・江戸での生活にかかる費用の割合が約4割と、最も高い。
- ・江戸との往復だけで総費用の2割を超えている。
- ・一年間の費用のうち、参勤交代にかかる費用が6割を超えている。



資料から分かること（例）

- ・秋田藩では、藩内での生活にかかる費用より、参勤交代にかかる費用がはるかに多かった。（約4倍以上）
- ・参勤交代による費用が、秋田藩の財政を苦しめていた。

展開③ 他藩の類似資料や参勤交代に関する資料を基に、各地の大名への影響について考える。

大名の配置を工夫したり、厳しい武家諸法度に従わせたりすることで、幕府は何をねらっていたのかな。

幕府と他の大名との関係を示す資料を、もう少し探してみよう…。

大名の配置や、武家諸法度などの影響とも関連付けて考えてみましょう。



展開④ 個人で考えを再構成し，文章でまとめる。

【まとめ】（例）

大勢の家来を連れて，江戸と自分の領地の間を行き来したり，江戸で暮らしたりするために多くの費用がかかった。これらが大きな負担となり，各地の大名は財政的に苦しくなっていた。

